

日系企業の米進出でも実績重ねる米グレイ建設

IT活用で調達業務を効率化、用地選定から建設まで対応

米ケンタッキー州に本社を置く、グレイ建設が、日系企業の米国進出に伴うプラント建設を積極的に受注している。

今年8月には、三菱ガス化学がオレゴン州とテキサス州に建設する超純過酸化水素のプラント、9月には大日精化工業の米国子会社であるハイテク・カラー社向け化学プラントの鉄入れ式をそれぞれ行った。

わが国のエンジニアリング企業が米国プロジェクトで相次いで不採算を計上する中で、グレイ建設は地場の建設会社として、着実にプロジェクトを遂行する。まさしく、日本の米国進出企業にとって、心強いパートナーだ。

日系企業向けに300件超の実績

グレイ建設がケンタッキー州に設立されたのは1960年。日系企業の米国進出に伴うプラントの建設を手掛けるようになったのは1970年代だ。1976年に東芝の米国進出に伴う工場建設をサブコンとして手掛け、1986年には日立製作所の進出プロジェクトをプライムコントラクターとして受注した。その後も、トヨタ自動車、花王、ヤマサ醤油など、加工・組立、食品産業向けにプラントを建設、実績を重ねた。

加工・組立産業で実績を重ねながら、徐々にプロセスプラントの受注も生まれた。1992年に出光興産の潤滑油ブレンド工場、1996年に三菱化学がバージニアに持つ、金属樹脂積層板「アルポリック」の生産プラントを受注した。

着実に実績を重ねながら2010年には、受注件数が300件を突破。2012年には、三井造船がクアラレから受注したポリアル樹脂の製造プラントも共同で受注。このプロジェクトは受注金額170億円を超える大型プロジェクトだった。

その後も日系企業から受注は順調に増加。すでに実績は320件を超えた。

用地選定から対応

ケンタッキー州レキシントンに本社を持ち、国内には、カリフォルニア州アナハイム、アラバマ州バーミングハム市、ノースカロライナ州シャーロット市、ケンタッキー州パーセイルズ市にそれぞれ事務所を持つ。従業員数は720名で、内訳は、設計・エンジニアリング・積算100名、プロジェクト・プランニング25名、プロジェクト・マネジメント238名、現場管理298名など。最近では、受注が好調なため、増員している。

規模も50～100億円規模を中心に堅実な事業を展開しているが、売上高のうち、9割以上が産業プラントの建設で、米国全土の協力業者と良好な関係を築いている。

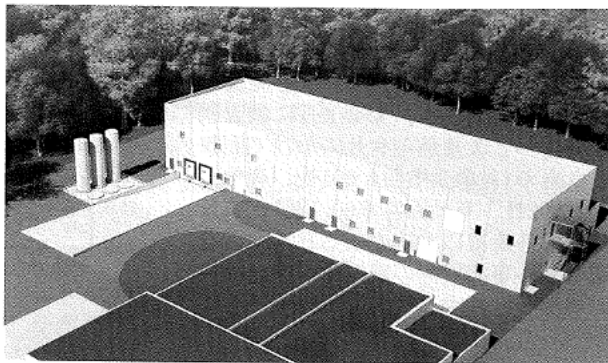
米国内の業者を知り尽くしているが、シェールブームに沸く、テキサス州やルイジアナ州などのメキシコ湾岸のプロジェクトには、慎重に対応している。理由は建設ラッシュでワーカーの確保が難しいからだ。米国の建設市場を熟知しているだけに、リスクを回避しながら、適切な判断を下している。

また対応するスコープは、EPCランプサムのほか、用地選定サポート、EPA(米国環境許認可)環境サポート、短納期設計施工。プロジェクトの用地選定、計画から許認可申請、さらにはプラントの建設まで、フルスコープで対応できる。

IT活用で効率的な調達管理

グレイ建設の強みの一つは、ITを駆使したプロジェクトの進捗管理にある。

グレイ建設では、SharePoint(マイクロソフト社製)やAutodeskのプログラムをカスタマイズして、プロ



ハイテク・カラー社のプラント完成イメージ

ジェクトで調達した機器の進捗を管理している。特に、プロセスプラントの建設プロジェクトでは、数多くの機器を調達するが、これら機器の発注、製作、検査、輸送、搬入、据付などの進捗を効率よく管理し、いつでも機器の最新状況を把握できるようにしている。

また調達管理のために、バーコードも活用している。調達段階でプロジェクトを通じて使用するID番号を割り振り、ID番号の番号がプリントされたステンレス製のプレートをバンダーに送り、それぞれの機器名称のうえにタグ付けする。これにより、機器搬入時や機器据付後もバーコードをスキャナーで読み取るだけで、機器情報がタブレット上に瞬時に表示される。

このシステムは操業開始後のメンテナンスでも活用でき、顧客からも好評を得ている。

さらにトヨタ自動車の「KAIZEN」も取り入れ、QA/QCにも取り組まれている。

日本にも事務所があり、グレイ建設は日系企業の米国進出にとって、心強い味方だ。

【日本事務所連絡先】

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜3-7-18
第2上野ビル523号室

TEL: 045-594-7034

e-mail: smasuko@gray.com